

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和元年度事業 点検・評価調書

5-II-1

5-II-1

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	伝統文化保存団体との連携
節	II. 伝統文化・地場産業の振興	事業主体	佐渡市社会教育課
事業(施策)名	1 伝統文化保存団体連絡会議	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡文化財団
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>○島内の伝統文化の振興に向けて、関係団体の連携体制強化を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>○伝統文化の効果的な情報発信や振興に係る課題の共有に向けて、島内の伝統文化保存団体や佐渡金銀山関連団体等による連絡会議を開催する。</p>		
R元事業計画と実績	<p>【元年度計画】</p> <p>●佐渡の伝統芸能である佐渡民謡を普及するため、第4回目となる「佐渡民謡の祝祭」を開催する。文化財団が団体数等を調査中なので、文化財団と連携をしながら、人形芝居等民謡団体以外の団体間の連携体制の強化を図る連絡会議を開催する予定。</p> <p>【元年度実績】</p> <p>●伝統芸能(佐渡民謡)の普及事業としては、「第4回佐渡民謡の祝祭」を両津文化会館で開催。民謡団体より上演いただいたことから、郷土の文化を次代に引き継いでいく意識付けがおこなえた。 イベント実績: 9月22日(日) 来場者600名(計画1,000名) 出演団体: 牛深ハイヤ、能登の民謡(2団体)、佐渡の民謡(16団体)、羽茂高校等(全19団体)(計画20団体)</p> <p>●伝統文化の継承のための現状調査の実施。また後継者育成や、人形芝居等民謡団体以外との団体間の連携を図るため、文化の協力サポーター体制を構築していく必要があることから連携体制の強化を図る連絡会議を実施した。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <p>■実行委員会の組織体制がなかなか確立しないことから、文化財団と連携し、引き続き人形芝居等民謡団体以外の団体間の連携体制の強化を図る必要がある。(文化の協力サポーター体制の構築)</p> <p>【今後の取組】</p> <p>■「佐渡民謡の祝祭」を継続する。 ■文化財団と連携し、人形芝居等民謡団体以外の団体間の連携体制の強化を図るため、引き続き連絡会議を開催し、文化の協力サポーター体制の構築を図る。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 [ a ● b · c ]</p> <p>【事業実施の効果】 [ a ● b · c ]</p> <p>【総合評価】 [ A ● B · C ]</p> <p>◇今年度開催された「第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭」と連動し、「民謡の祝祭」の中で佐渡おけさのルーツと言われる「牛深ハイヤ」を熊本県天草市から招聘し、上演することができた。また、人形芝居等民謡団体以外の団体間連携体制の強化を図るための調整会議を開催した。文化の協力サポーター体制の構築を図ることが今後の課題である。</p>		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。